坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学　校　だ　よ　り
令和８年６月号
発行責任者：岩下修一

～やってみよう　頑張ってみよう　みんなが笑顔の坂元小～

「『つながり』を豊かにするために　～情報端末機器との上手な付き合い方～

坂元小学校　校長　岩下　修一

今週は、坂元中学校の期末テスト期間に合わせて「メディアコントロール週間」となっています。情報端末機器（メディア）の使い方について、ご家庭で話し合ったり、ルールを確認したりしていただければと思います。

現在の教育現場では、GIGAスクール構想のもと、一人一台のタブレット端末が日々の学習に欠かせない道具となっています。子どもたちは驚くほどの吸収力で操作を覚え、調べ学習や自分の考えを表現するツールとして、見事に使いこなしています。デジタル技術は、子どもたちの可能性を広げる素晴らしい鍵です。

しかし、その一方で、ご家庭でのスマートフォンやタブレット、オンラインゲームなどの「情報端末機器との付き合い方」について、不安や悩みを抱えていらっしゃる声も耳にします。「夜遅くまで画面を見ていて、朝起きられない」「ネット上の言葉遣いや、友達とのやり取りでトラブルにならないか心配」というものです。また、全国的には若者の不適切な動画がSNSに流出するという事件も発生しています。これらは決して他人ごと・よそごとではなく、今を生きる子どもたちを守るために、私たち大人が真剣に向き合わなければならない現代の課題です。

小学校期に最も大切なのは、「情報モラル（正しく、安全に使う心）」を育てることです。車を運転するのに免許やルールが必要なように、インターネットの世界にも守るべきルールやマナーがあります。そこで、保護者の皆様にぜひ、ご家庭で次の「３つの約束」について話し合っていただきたいと考えています。

ご家庭で大切にしたい３つのポイント

①「時間と場所」のルール作り

「使用はリビングで」「夜〇時まで」など、使う時間と場所をお子さまと一緒に決め、見える場所に貼っておく。

②「言葉」の向こう側を想像する

文字だけのやり取りは、誤解を生みやすいものです。「自分が言われて嫌な言葉は使わない」「相手の顔が見えなくても、目の前にいると思って伝える」ことをお話しください。

③困ったときは、すぐに「大人に相談」

万が一、知らない人とつながってしまったり、嫌な気持ちになったりしたときは、怒らずに「教えてくれてありがとう」と受け止め、一緒に解決する姿勢を示してあげてください。

インターネットやSNSの背景には、必ず「人」がいます。坂元小学校が大切にしている「相手を思いやる心」は、画面の向こう側に対しても全く同じです。

文明の利器を「使われる」のではなく、自分の生活を豊かにするために「使いこなす」人へ。子どもたちが溢（あふ）れる情報に溺れることなく、リアルな体験や家族・友達との温かい「生のつながり」も大切にしながら成長できるよう、学校と家庭が手を取り合って見守っていきましょう。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＊裏面もあります。